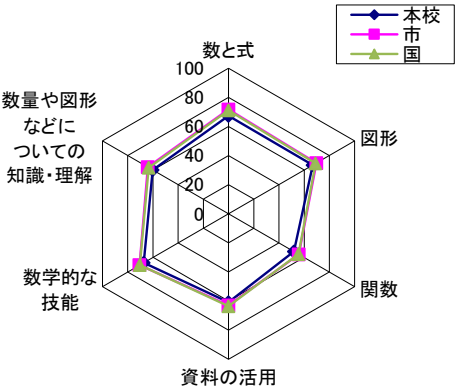


宇都宮市立陽南中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

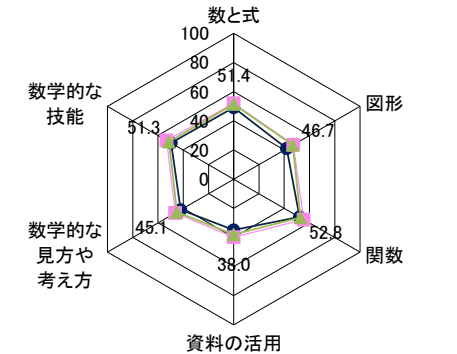
★本年度の国、市と本校の状況
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	67.3	71.7	71.1
	図形	66.8	69.7	69.1
	関数	51.8	55.8	55.5
	資料の活用	60.8	62.9	63.5
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	67.3	70.6	70.4
	数量や図形などについての知識・理解	60.2	64.0	63.3



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	49.1	52.0	51.4
	図形	42.0	47.3	46.7
	関数	52.1	55.4	52.8
	資料の活用	34.9	39.8	38.0
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	42.0	46.3	45.1
	数学的な技能	49.6	53.1	51.3
	数量や図形などについての知識・理解			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○指数を含む正・負の数の計算においては、市平均を3ポイント上回っている。 ●絶対値の意味の理解においては、全国平均、市平均を10ポイント以上下回っている。 ●二元一次方程式の立式については、全国平均を6.3ポイント、市平均を8.2ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・絶対値については、言葉の意味を丁寧に指導し学び直しを図る。 ・基礎的な計算の技能が身に付いていない生徒が多数見受けられるので、授業のスタートの計算演習を継続していくとともに、1、2年次の復習を意識して取り入れ、基礎的な技能の習得を図る。
図形	回転体の理解において、全国平均、市平均とほぼ同じである。 ●2つの三角形の合同であるための相当関係においては、全国平均を7.2ポイント、市平均を6.4ポイント下回っている。 ●証明の意味の理解については、全国平均を7.6ポイント、市平均を7.5ポイント下回っている。	・図形の論証については、苦手意識が高いので、基本的な問題から段階的に指導し、理解を深められるように指導する。 ・PCやTVを利用し、図形を視覚的に捉えさせるよう授業の改善を図る。 ・解答のみならず途中の考え方を大切に扱い、自分の考えをまとめたり、発表したりすることを通して、論証の無回答をなくすよう努めていく。
関数	座標を表すことや、一次関数の意味において、全国平均、市平均とほぼ同じである。 ●比例のグラフから変域をもとめることにおいては、全国平均を5.5ポイント、市平均を7.4ポイント下回っている。 ●連立方程式の解と交点座標との関係については、全国平均を5.7ポイント、市平均を6.4ポイント下回っている。	・関数については無回答率が高いので、常に、表と式とグラフを関連づけて考えることを指導し、確実に習得させる。 ・比例と一次関数、一次関数と2乗に比例する関数との関連を図り、実生活に関わる例題を取り上げることで、関数の有用性を感じさせ、理解を促すよう指導していく。
資料の活用	最頻値や中央値などの代表値の理解において、全国平均、市平均とほぼ同じである。 ●確率の意味や確率も求めることにおいては、全国平均を7.1ポイント、市平均を5.7ポイント下回っている。	・確率を求めることについては、計算だけでなく、その意味を理解できるよう丁寧に指導し、確実に習得させるようにする。